

難波津に 咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花

区名の“浪速”も海に由来するように、遠い昔は芦の茂る海辺の土地。浪速区の生い立ちは、海辺の暮らしとともにありました。江戸時代に入ると、日本橋は紀州街道の玄関口にあたる宿場町として栄え、また区内各所は蕪や葱など野菜の生産地として、大都市・大阪に住む人々の生活を支えてきました。史実を今に伝える神社仏閣や銅像、碑の数々。まちに根付いた祭りや伝統工芸に触れたり、遠い昔に思いを馳せつつまちあるきを楽しむのもおすすめです！



今宮戎神社 商売繁盛の神様「えべっさん」

「商売繁盛で恒持てこい」のお願いが響く毎年1月9～11日の「十日戎」でもおなじみの商売の神「えべっさん」。聖徳太子の四天王寺建立に際し、西方の鎮護神として創建されたのが始まりと伝えられます。えびす大神と祭神の事代主命（ことしろぬしのみこと）はもともと漁業の守り神ですが、中世以降に商業の繁栄を祈願する神として厚く信仰されるようになりました。

●住所：浪速区恵美須西1-6-10
●TEL：06-6643-0150
●URL：http://www.imamiya-ebisu.jp/

MAP 1 D-5

願泉寺

MAP 3 C-5

相阿弥の作とされる庭園がある寺院

小野妹子の八男、多嘉麿義持が創建しました。江戸時代は紀伊徳川家の参勤交代の陣屋となり、三ツ葉葵の寺紋を許されていた由緒を誇ります。京都の作庭家相阿弥（そうあみ）の作と伝わる枯山水の庭園は大阪府指定名勝、蓮如筆の紙本墨書六字名号は大阪市の有形文化財に指定されています。



●住所：浪速区大國 2-2-27
●TEL：06-6641-0084

銀河・詩のいえ

詩人・東淵 修ゆかりの地

1930(昭和5)年 新世界生まれ、2008(平成20)年 没。1968(昭和43)年 詩誌「銀河詩手帖」を創刊。新世界や釜ヶ崎などで暮らす労働者らの哀歓をひらがなの大変で詠んだ。2002(平成14)年「銀河・詩のいえ」を開設し、現在も「銀河詩手帖」は詩人で「歴程」同人の近藤摩耶に引き継がれている。



●住所：浪速区恵美須東 3-5-5
●TEL：06-6636-0326
●URL：https://www.ginga-shinoie.com

MAP 4 E-6

唯専寺

MAP 2 C-4

木津勘助(中村勘助)のお墓がある有名な寺院

唯専寺は用明天皇の時代が始まりといわれ、境内には寛永14(1637)年鑄造の梵鐘や木津勘助の墓があります。

●住所：浪速区敷津西 2-13-4
●TEL：06-6631-5445

敷津松之宮 大國主神社

MAP 5 C-4

地元に親しまれている「木津の大国さん」

社伝によれば神功皇后が敷津浦を航海されたとき渚に松の木を植え、素戔鳴尊(すさのおのみこと)を祀り、航海の安全を祈ったのが由緒とされます。相殿である大國主神社は「今宮の戎さん」こと今宮戎神社と並び、「木津の大国さん」と親しまれ、江戸時代から初詣や十日戎は「戎、大國、両社詣って本まいり」といわれるほど厚く信仰されています。境内には江戸時代には大阪の発展に貢献した、木津勘助(中村勘助)の銅像もあります。

●住所：浪速区敷津西 1-12-12 ●TEL：06-6641-4353
●参拝時間：9:00～16:00



木津勘助之銅像

難波八阪神社

大阪市指定無形民俗文化財の綱引神事をはじめ、獅子舞台があることで有名な神社

獅子頭を模した高さ12m、幅11mの巨大な獅子舞台でおなじみです。平成13(2001)年には約230年ぶりに夏祭りの船渡御を復活させて話題になりました。始まりは仁徳天皇の御代といい、難波一帯の産土神(うぶすなのかみ)として信仰されました。現在の社殿は、戦後再建されたものです。

●住所：浪速区元町2-9-19 ●TEL：06-6641-1149
●URL：https://nambayasaka.jp/

MAP 6 C-3



綱引神事

赤手拭稲荷神社

MAP 8 B-3

上方落語「そろそろ」の舞台

祭神は、豊受皇大神(とよけのおおみかみ)ほか三神で、赤い手拭を胸前に供えたことから「赤手拭稲荷」といわれるようになりました。昭和20(1945)年3月の空襲でご神体を残し焼失。現在の本殿は昭和23(1948)年に再建されました。上方落語「そろそろ」の舞台としても知られています。

●住所：浪速区稲荷2-6-26
●TEL：06-6561-4605



廣田神社

アカエイを神使とする病気平癒・合格・必勝の神社

もと天王寺の鎮守で今宮村の産土神(うぶすなのかみ)ですが創建年代は不詳です。古い由緒を持つとともに江戸時代には廣田の杜といわれ、うっそうとした森のなかに社がありました。無病息災・痔疾をはじめ難病治癒にご利益があり、アカエイ(関西ではアカエ)を神使とするユニークな神社で、叡知の「エイ」に通じることから合格・必勝の祈願がかなえるといわれています。

●住所：浪速区日本橋西2-4-14
●TEL：06-6641-1771

MAP 9 D-4



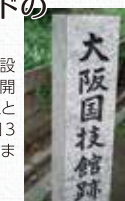
大阪国技館跡

MAP 13 E-6

新世界・スパワールドの傍らにある碑

大正8(1919)年、ドーム式相撲常設館として開館、春秋の本場所などが開催されましたが、大阪相撲の衰退とともに6年後に興行を中断。昭和3(1928)年、映画館としてよみがえりましたが、大阪空襲で焼失しました。

●住所：浪速区恵美須東 3-4



浪速神社

浪速区にある坐摩神社の境外末社



大祭として元旦祭、春祭、夏祭、秋祭があり、特に7月21日、22日の夏祭にはぎやかな布団太鼓の巡行で親しまれています。坐摩神社の末社で、祭神は坐摩大神(いかにすりのおかみ)、猿田彦大神(さるたひこおかみ)です。

●住所：浪速区浪速西 3-10-23

MAP 7 A-5

レトロ建築

懐かしい魅力でノスタルジックな雰囲気をも堪能

●ギャラリー再会(内部非公開)

昭和28(1953)年、建築家の石井修氏が設計した、国指定登録有形文化財です。南欧風の外観、らせん階段や柱の彫刻などが秀逸です。もとは純喫茶「再会」としてにぎわいましたが、現在は毎月1回最終土曜日14時からジャズライブ開催時のみ入店できます。

●住所：浪速区恵美須東1-4-16
●TEL：06-6641-3093(新世界ラジウム温泉)
●営業時間：ライブ時のみ利用可
●料金：内部公開はライブ時により、ライブ料金要
●URL：http://www.radium.co.jp/index.php?pid=sakai(新世界ラジウム温泉)

MAP 10 E-5

●新世界国際劇場

すっかり珍しくなった手描きの映画看板が郷愁を誘う映画館です。昭和5(1930)年、芝居小屋としてオープン。外観は今も演舞場時代までの、昭和初期らしい重厚なデザインが目を引きまします。

●住所：浪速区恵美須東21-32
●TEL：06-6641-5931



MAP 11 E-6

●高島屋東別館(旧松坂屋)

高島屋東別館は、昭和のはじめに、松坂屋大阪店として建築され、設計は鈴木清次。堺筋側の11連アーチのアーケード等、戦前の華やかな百貨店建築を現在に伝える歴史的建物で、2019(令和2)年、国の登録有形文化財となりました。リノベーション工事を経て2020(令和2)年にリニューアルオープン。ホテルやフードホールが新たに開業し、高島屋史料館の装いも新たに変わりました。

●住所：浪速区日本橋 3-5-25
●TEL：06-6631-1101(代表)



MAP 12 E-3

大地震両川口津波記念碑

犠牲者の慰霊や後世への戒めを伝える安政大津波の碑

東日本大震災では大津波の恐ろしさを再認識しましたが、浪速区も安政元(1854)年、M8クラスの大地震で津波による甚大な被害を受けました。この石碑は「安政大津波の碑」とも呼ばれ、津波による犠牲者の慰霊や後世への戒めを伝えるものです。地震が起こると津波が襲うものと心得ること、などの忠告が書かれています。

●住所：浪速区幸町 3-9

MAP 14 A-2

